

## 部会における調査審議の経過等について

## I 総合部会における調査審議の経過及び主な意見

## ■ 総合部会の開催

- ・ 第1回総合部会／平成27年2月17日
- ・ 第2回総合部会／平成27年4月24日
- ・ 第3回総合部会／平成27年6月25日
- ・ 第4回総合部会／平成27年8月10日

## ■ 主な調査審議事項

- 県民意見等の把握
- 全体構成
- 基本構想に関する事項（時代の潮流と茨城の特性，基本理念，目標と将来像）
- 基本計画に関する事項（政策展開の基本方向に係る調整，地域づくりの基本方向）
- 重点プロジェクトに関する事項 等

## ■ 主な意見

- 未来を担う子どもの育成や様々な人の活躍を支える「人づくり」が最も重要。
- 人口減少の中では「みんなで創る」という連携・協働の視点がますます重要。
- 世界や全国への発信力を高めるには，地域を知り，地域に誇りを持つことが必要。
- 時代が移り変わっても変わらない普遍的な価値観を大切にしつつ，世界や全国に強い存在感を示せるような新しい価値を生み出すポジティブな姿勢も必要。
- 地域資源を磨き，活用するだけでなく，発掘するという視点が必要。 等

## II 専門部会における調査審議の経過及び主な意見

## ■ 専門部会の開催

- ・ 第1回専門部会／平成27年2月10日(人が輝く，住みよい)・13日(活力)
- ・ 第2回専門部会／平成27年5月19日(住みよい)・20日(活力)・21日(人が輝く)
- ・ 第3回専門部会／平成27年7月23日(人が輝く)・31日(活力，住みよい)

## ■主な調査審議事項

- 県民意見等の把握
- 各分野における現状・課題，将来像
- 基本計画に関する事項（政策展開の基本方向）
- 全体構成，基本構想，重点プロジェクトに関する事項等についての意見聴取 等

## ■主な意見

### 【人が輝くいばらきづくり専門部会】

- 学校・家庭・地域が連携し，子どもの規範意識や社会性を育むことが必要。
- 自ら課題を発見し解決する力やコミュニケーション力を高める教育が必要。
- 世界で活躍するだけでなく，地域を知り，地域の未来を支える人材育成が必要。
- 地域の芸術・伝統文化・歴史に触れることは，子どもの創造力や発想力を育むとともに，郷土愛の醸成に繋がる。
- 生涯にわたって学び続け，人間としての総合力を高め続けることが重要。 等

### 【活力あるいばらきづくり専門部会】

- つくばを中心とする世界的科学技術力を，ものづくり産業をはじめ医療や農業などの分野と連携・融合させ，新たな価値や成長産業の創出を誘発する取組が必要。
- 研究者や技術者が自由に交流できる環境づくりやネットワークづくりが必要。
- 中小企業・小規模事業者の海外進出や農産品の輸出を後押しする取組が必要。
- 茨城の食材の評価は高いが，安定供給の面が弱く，信用を勝ち取る取組が必要。
- 観光や地域づくりの面では，地域資源やここにしかない特性（価値）を徹底的に知り尽くし，使いこなすことと，ヨソモノの感性を活かしていくことが必要。 等

### 【住みよいいばらきづくり専門部会】

- 女性や若い世代が働きやすく，結婚・出産・子育てがしやすい環境づくりが必要。
- 医師不足は直ぐには解決できない難しい問題であるため，医療人材を地域で守り，育てるという意識や，高齢者などを地域全体で見守る社会づくりが必要。
- 公共交通とまちづくりをセットで考えることが必要。
- 障害者や外国人など多様な人がいて社会が成り立っていることへの理解が大切。
- 大規模災害などへの備えや危機管理のためには隣接県との広域的な連携が必要。
- 地球温暖化対策は，ライフスタイルやライフステージに応じた取組が必要。 等